

特定外来生物「ハイイロゴケグモ」の生息確認について

熊本市立小学校の敷地内で、特定外来生物「ハイイロゴケグモ」の生息を県内で初めて確認しました。

ハイイロゴケグモは、基本的におとなしく攻撃性はありませんが、メスは毒を持っており、素手で触れると咬まれることがあります。なお、市内において、ハイイロゴケグモによる咬傷被害の情報はありません。

1 確認日時 令和4年9月14日（水）

2 確認場所 力合西小学校敷地内（熊本市南区荒尾1丁目11）

3 経緯及び対応状況

- 令和4年9月9日（金）午前、学校でセアカゴケグモに酷似したクモが見つかり、小学校からの通報を受けた生活衛生課が現地確認を行いました。発見場所周辺では成体を確認できず、写真のみであったため、確定には至りませんでした。
- 令和4年9月14日（水）午前、再度、学校の敷地内で職員がセアカゴケグモに酷似したクモ1匹と卵のう2個を確認し、生活衛生課へ連絡。
- 生活衛生課の現地確認の結果、セアカゴケグモに酷似したクモの成体2匹、卵のう6個を確認したため駆除を実施し、同定のため、生活衛生課が熊本博物館へ持参した。
- 生活衛生課職員が周辺の調査も併せて行ったところ、セアカゴケグモらしきクモの生息確認はできませんでした。
- 学校では職員が、生活衛生課の指示により、範囲を広げ点検し、成体16匹、卵のう約100個の駆除を行いました。
- 令和4年9月15日（木）生活衛生課が前日に依頼したクモの成体の専門家による同定の結果、県内初確認の「ハイイロゴケグモ」であることが判明しました。
- 学校では、引き続き職員が敷地内を点検し、令和4年9月15日（木）成体11匹、卵のう20個、令和4年9月16日（金）成体1匹、卵のう13個を駆除しました。
- 当該小学校においては、中庭及び遊具周辺等の使用を中止し、児童に対し「クモを発見したときは、自分たちで駆除せずに、必ず教員に知らせる」ように指導しています。
- 現時点で当該校の児童による咬傷被害の報告はありません。

4 今後の対応

- 学校では、保護者等には安心メールで注意喚起を促します。
- 市立学校（園）に対し、教育委員会から文書にて注意喚起を促します。
- 生活衛生課では、当該小学校の周辺住民に対して注意喚起を行い、ハイイロゴケグモの生息状況について、本市HPで随時更新します。

5 ハイイロゴケグモについて

- ハイイロゴケグモは、平成7年に日本で始めて生息が確認され、現在は、福岡県、長崎県、宮崎県、鹿児島県など13都府県で生息が確認されています（同じゴケグモ属の特定外来生物「セアカゴケグモ」は、これまで市内で6例確認されています）。
- メスの体長は0.7～1cm、茶色、黒色、灰色などの球状の腹面に砂時計型の赤い紋様が1つあることが特徴で、日当たりのいい場所や暖かい場所の物陰を好みます。

6 気をつけること

- ・ 屋外で作業をするときは、軍手や靴下などを着用し、素手で触らないよう気をつけてください。
- ・ ハイイロゴケグモを見つけたときは、家庭用殺虫剤（ピレスロイド系）を用いるか、靴で踏み潰して駆除（特に卵のうについては物理的に駆除）してください。
- ・ ハイイロゴケグモに咬まれたときは、速やかに医療機関を受診してください。咬まれた場合、小さな子供やお年寄りがまれに重症化することもあります。国内での死亡事例はありません。また、血清開発後は、海外での死亡事例はありません。

※環境省チラシ、保健所注意喚起チラシ

お願い) 本件に関して、学校への問い合わせはお控えください。

お問合せ先

学校における対応について	ゴケグモの生態・周辺での対応について	ゴケグモの生態・特定外来生物について
教育委員会健康教育課 上村清敬 課長 328-2728	生活衛生課 八浪哲也 課長 364-3187	環境共生課 吉田香織 課長 328-2352

セアカゴケグモ、ハイイロゴケグモにご注意ください

令和4年9月に熊本市立の小学校敷地内で特定外来生物「ハイイロゴケグモ」が発見されました。ゴケグモは基本的に攻撃性はありませんが、毒を持ち、触ると咬まれることがあります。触らないように注意しましょう。

◆ ゴケグモとは

日本では、特定外来生物に指定されており、平成7年に大阪府高石市で初めてセアカゴケグモが確認されてから、全国各地で発見されています。熊本市では、平成25年以降に6例のセアカゴケグモの生息が確認され、ハイイロゴケグモの生息確認は1例目です。

◆ セアカゴケグモの特徴



成体（メス）	
体長	足を除いて約1 cm、足を含めて3～4 cm
色	艶のある黒色、腹部の前面、背面に特徴的な赤い模様
形	足は8本、体が二つに分かれお尻側が丸くて大きい

巣・卵のう	
巣	・同心円状ではなく不規則な形状 ・乳白色の綿ぼこりのようにも見える ・糸は非常に粘着力が強い
卵のう	・約100個の卵が入った袋のこと ・乳白色で球形

◆ ハイイロゴケグモの特徴



成体（メス）	
体長	足を除いて約1 cm、足を含めて3～4 cm
色	茶色、黒色、灰色など様々な色、腹部の前面に赤い模様
形	足は8本、体が二つに分かれお尻側が丸くて大きい

巣・卵のう	
巣	・同心円状ではなく不規則な形状
卵のう	・約100個の卵が入った袋のこと ・表面はトゲ状

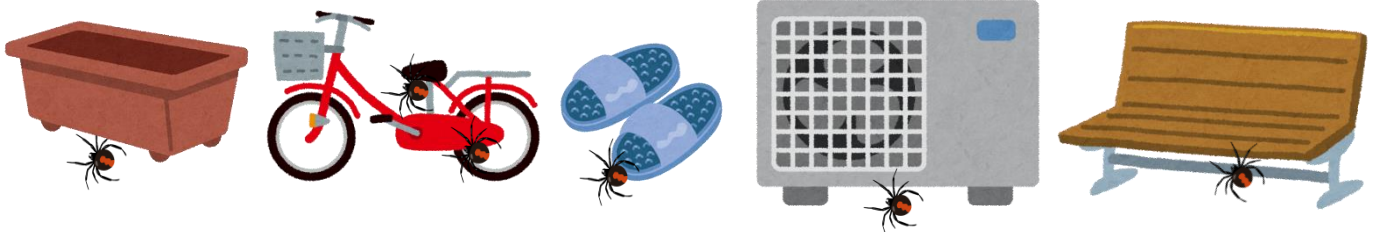
◆ ゴケグモが居そうな所

- ① 日当たりがよく暖かいところ
- ② 昆虫などの餌が豊富にあるところ
- ③ 巣を張るために適当な隙間があるところ
- ④ 地面から1mの高さより低いところ

■ こんなところで暮らしています



窓枠の隅、自転車・自動車の周囲、外に置いている靴の中、エアコンの室外機の下、プランター、ベンチの下、自動販売機の下、グレーチングの裏、水抜き穴 など



◆ ゴケグモを見つけた時の対処法

セアカゴケグモ、ハイイロゴケグモは毒を持っていますが、おとなしく、攻撃性はほとんどありません。見つけた時は、慌てずに、触らないようにして駆除してください。

◆ 駆除の方法

成虫は、厚手の手袋（軍手やゴム製の手袋）を着用し、素手で触らないようにして、市販の家庭用殺虫剤（ピレスロイド系）を用いるか、靴を履いて踏み潰します。

卵のうは、割り箸などでつまんでビニール袋へ入れてから家庭用殺虫剤（ピレスロイド系）を吹きかけてください。



◆ 咬まれてしまったときは

咬まれた部分を温水や水でよく洗い流し、できるだけ早く病院で医師の診察を受けてください。

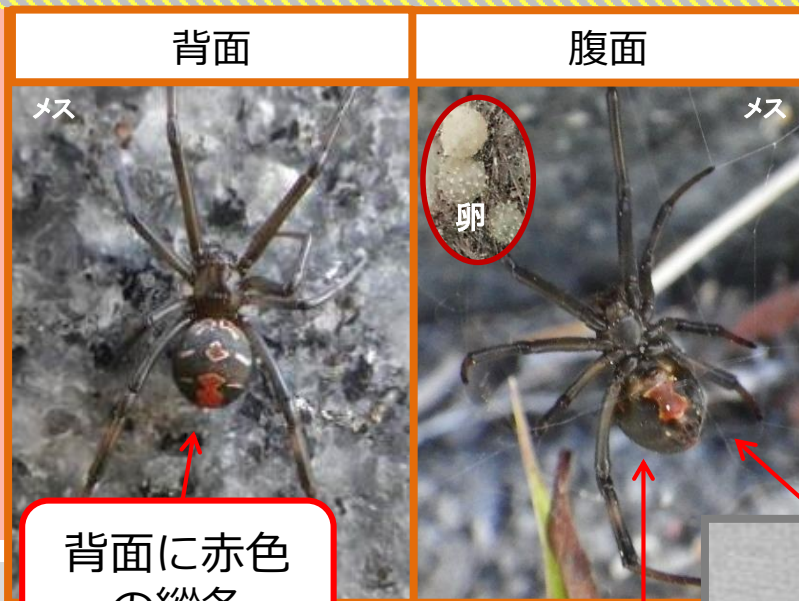


◆ 普段から気をつけること

- ・ 庭の手入れや掃除をする時は厚手の手袋（軍手やゴム製の手袋）や靴下を着用してください。
- ・ 屋外に出しっぱなしにしている靴やサンダルを履くときは、中にクモが入っていないか確認しましょう。



セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ にご注意ください！



和名 セアカゴケグモ
科名 ヒメグモ科 (Theridiidae)
学名 *Latrodectus hasseltii*
原産地 オーストラリア
特徴 成熟した雌の体長は、約0.7～1cm。
全体が光沢のある黒色で、腹部の背面に
目立った赤色の縦条がある。

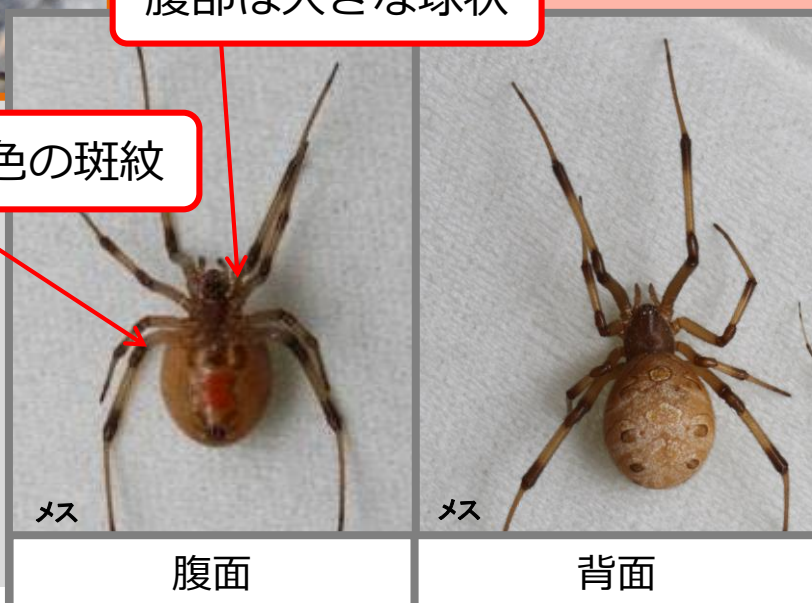
※左写真は、若い個体であり、
成熟すると白い斑紋は消える

腹部は大きな球状

背面に赤色
の縦条

腹面に赤色の斑紋

和名 ハイイロゴケグモ
科名 ヒメグモ 科(Theridiidae)
学名 *Latrodectus geometricus*
原産地 亜熱帯地方
特徴 成熟した雌の体長は、約0.7～1cm。
ハイイロゴケグモの色彩はさまざまで、腹部
背面が真黒のもの、茶色や灰色を基調として
斑紋を有するものなど変異が多い。



腹面

背面

ゴケグモの被害について

※毒をもっているのは雌だけです

咬まれたときの症状

- 局所の疼痛、熱感、痒感、紅斑、硬結、
区域リンパ節の腫張が生じます
- 通常は数時間から数日で症状は軽減しますが、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの
全身症状が数週間継続することがあります
- 重症例では、進行性の筋肉麻痺が生じます

咬まれた場合は

- 咬まれたときは、すみやかに医療機関に
ご相談ください
- 重症化した場合は抗毒素血清による治療が
必要です
- 咬んだクモの種類がわかるように、できれば殺したクモを病院へご持参ください

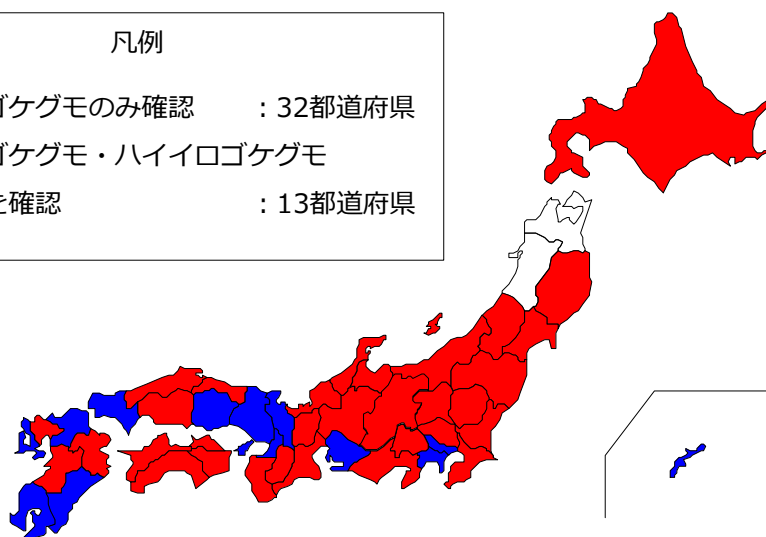
咬傷例

- ゴケグモは攻撃性はありません
が、触ると咬まれることがあります
- 日本では主に6～10月にセアカ
ゴケグモの咬傷例が報告されて
おり、ほとんどが軽症ですが、
重症化することもあります
- 日本ではセアカゴケグモの毒で
死亡した例はありませんが、
オーストラリアでは死者が出て
います
(血清開発後の死亡例はありません)

今までにセアカゴケグモ・ハイイロゴケグモが 確認された都道府県（45都道府県）（2019年8月8日現在）

※ゴケグモが今までに1回しか確認されていない場所も含む

凡例	
■ セアカゴケグモのみ確認	: 32都道府県
■ セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ の両方を確認	: 13都道府県



セアカゴケグモとハイイロゴケグモは、港湾地域又はそれに隣接する地域で多く発見されており、コンテナ等に付着して侵入してきた可能性があります。

国内では、貨物やコンテナ、建築資材、自動車等に営巣したものが運ばれた結果、生息域が広範囲に拡大したと考えられています。

ゴケグモの生息する場所

- 日当たりの良い暖かい場所で、地面や人工物の窪みや穴、裏側、隙間に営巣します
例)自動車、プランターの底、室外機の裏、庭に置いた靴の中など
- 屋外に置かれていた傘、衣服、おもちゃ等に付着して、屋内に持ち込まれる可能性があります
- ゴケグモに咬まれないように屋外で作業する場合は、軍手など手袋を着用してください

ゴケグモを発見した場合

- ゴケグモを発見した場合は、お住まいの自治体にご連絡ください
- ゴケグモを見つけても、素手で捕まえたり、さわらないようにしてください
- 駆除するには家庭用殺虫剤（ピレスロイド系）を用いるほか、靴で踏みつぶす等の物理的な方法があります
（生きたままのゴケグモを洗い流さないよう注意）
- 周囲にも潜んでいたり、卵がある可能性があるので、よく確認するなど注意してください

ゴケグモを拡散しないために・・・

ゴケグモの国内での分布域の拡大の抑制のため、ゴケグモが生息している地域からの車での移動や貨物の運送のときなど、ゴケグモが車や荷物に付着した状態で移動しないようご注意ください

セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ等のゴケグモ属は、
外来生物法に基づく“特定外来生物”に指定されています

外来生物による生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害の防止を目的に、外来生物法では特定外来生物を指定し、これらの生きた個体を持ち運んだり、飼育したりすることを禁止しています。セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ等のゴケグモ属については、人の生命又は身体に関わる被害があることから、特定外来生物に指定されています。

外来生物法について詳しく知りたい方は下のURLをご覧ください

<http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>

製作：環境省外来生物対策室